

おいしい水ができるまで

私たちの暮らしになくってはならない「水」。朝起きたら、ゴクツと一杯、もう一杯…、おいしい料理を作るのにも欠かせない名脇役です。顔を洗うときも、歯をみがくときも、お風呂に入るときも、いつも身近にある「水」。



「チョップ☆ききょうも、とつてもいいおてんき〜♪ききょうはなにしようかな〜まずはおみずをのんでから、かんがえよう〜」

目覚めに一杯の水を飲んだとまチョップ

「ぶはあ〜♪とまこまいのおみずって、とつてもおいしいな〜！おみずって、どうやってつくるのかな〜？あつ、そうだ！ききょうは、おみずちょうさをしていこう〜☆」

さあ、とまチョップと一緒に、おい

しい水のふるさとへ旅に出かけましょう。

苦小牧の水道水は、幌内川と勇払川（高丘系）、錦多峰川（錦多峰系）三つの川から取水しています。今日は、そのうちの一つ、勇払川の源流へ向かいます。

源流

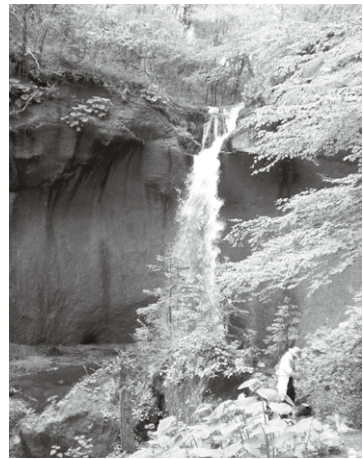
樽前山のふもと、支笏湖にも程近い森林地帯の中、水がこんこんと湧いています。ここは勇払川の支流、丸山川の源流です。

「ここから、とまこまいのおみずが出てるんだね〜！（ピチャピチャ）つめた〜い！」

雨や雪どけ水が、樽前山の噴火で積もった火山れき層に深く浸み込んで、自然ろ過されます。この間にミネラルやカルシウムを豊富に蓄えて、おいしい水の条件を満たすのです。

それでは、丸山川を下っていきましよう。

七条大滝



美しい滝が見えてきました。

「うわあ〜☆おおきなたき〜！」

ここは、落差16m、一日あたりの水量は約1万5,000m³を誇る七条大滝です。

勇払川水系には、他にも丸山遠見の滝、勇振の滝があり、木々に囲まれたその姿は荒々しくも美しいものですが、いずれも国有林内にあるので、入林には胆振東部森林管理署（白老町）の承認が必要となります。

丸山川は、七条大滝の先で勇払川に合流し、川幅も広くなります。さらに下っていきましよう。

勇振取水場

やがて、ダムのような施設が見えて

きました。勇振取水場です。

ここは、水道水の原水を川から取水する施設で、一日あたり4万m³の取水能力があります。先ほど、三つの川から取水していると言いましたが、3箇所全体では、一日あたり8万8,100m³の取水が可能となっています。



ここから水は、6kmあまりの導水管を通り、高丘浄水場へ向かいます。

高丘浄水場

苦小牧の水道水は、高丘と錦多峰、二つの浄水場で作られています。一日の配水能力（各家庭などに供給できる